

## 平成 30 年度第 1 回麒麟のまち創生戦略会議・サミット議事概要

日 時：平成 30 年 5 月 31 日(木)午後 4 時半～

場 所：ホテルモナーク鳥取「仁風西の間」

出席者：鳥取市長、鳥取市議会議長、鳥取市副市長、岩美町長、岩美町議会議長、若桜町長、若桜町議会議長、智頭町長、智頭町議会議長、八頭町長、八頭町議会議長、八頭町副町長、香美町長、香美町議会副議長、新温泉町長、新温泉町議会副議長

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 災害時相互応援協定の締結

《事務局より経過説明》

平成 28 年 5 月に「因但県境自治体会議（通称：コリドー 21）」が発足し、平成 23 年 8 月 19 日にコリドー 21 の構成市町村である「香美町、新温泉町、鳥取市、岩美町、八頭町及び若桜町」において、「災害時相互応援協定」を締結いたしました。本日、「因但県境自治体会議（通称：コリドー 21）」が発展的な解散に至ったことに伴い、災害時相互応援協定に関しましても、「麒麟のまち創生戦略会議」の枠組みの中で新たに智頭町にご参画いただいた上で、1 市 6 町による協定を改めて締結する運びとなりました。

### 4 サミット 意見交換：テーマ「広域連携で期待すること」 要旨

《岩美町長》

1 町だけでは難しい課題があり、やはり連携をしていくことが重要。例えば、1 町だけで職を確保するのはなかなか難しく、住むところは岩美町で仕事は鳥取市という形でも良いのではと思っている。今回のサミットでは、各市町の議長さんが入っていただいております、これは議会の皆様にもご理解をいただきながら、一緒になってしっかり話し合っ、課題に取り組んでいかないといけないということだと考えている。

《岩美町議会議長》

この素晴らしい山陰の海があるので、海を通じた交流が大切だと考えている。冬には松葉ガニがあるので、カニを通じたイベントを各地域で一斉に行い、関西方面、関東方面、中国地方のお客様をどんどん地域に呼び込んでいくのが良いのではと思っている。それが、各浜の水産業の発展にもつながる。越前ガニに価格面でも負けないようにがんばっていかねばと考えている。

《若桜町長》

コリドー 21 ができた当初、私が担当していたこともあり思い入れがあり、今回終焉を向かえたということで、寂しいという思いもある。麒麟のまち圏域では、人の流れがある圏域をつくっていくことが重要で、そのためには観光連携はやっていかないといけない課題である。沢山いい素材があるので、それをブラッシュアップしながら、一緒になって圏域でのイベントや体験事業、食を、国内外に発信していくことが必要。またインバウンド

については、受け入れ準備も重要となる。これまでの流れで圏域での町民・市民の交流であったり、文化交流、スポーツ交流、職員の交流や人材育成も一緒になってやって取り組んでいきたい。

《若桜町議会議長》

ここ数年前からは、仕事場については、八頭町であったり、鳥取市の方にはがんばっていただき、子育て、生活の場は若桜町という形で、子育ての関係で移住者も増えてきた。やはり連携をしていかないといけない。1市6町、横の連携をしっかりとっていただきながら、全体が共に発展していけたら良い。議会としても、しっかりとバックアップしていきたいと思っている。

《智頭町長》

日本にはお城と石垣というものがあるが、この圏域の皆様のまちそれぞれが個性を持っており、しっかりとスクラムを組んで、地震にも微動だにしないような石垣を築きながら、それぞれのまちが発展していくことを願っている。

《智頭町議会議長》

県境を越えて職員の応募があったりと、交通環境の変化等、県境というものが意識できなくなってきた。この圏域は、鉄道を共有している地域でもある。JR西日本の瑞風もあるが、停車するのは東浜駅、鳥取駅である。在来線の運行に関する大きな規制はあるが、こういった規制を打ち破っていくのは、一つの市町だけでなく、県境を越えたルートを共有する市町でタッグを組んで取り組むことが必要で、この会議での取組がJR西日本を動かす一助となればと考えている。

《八頭町議会議長》

地方創生に向け全国各地で様々な取り組みがあるが、近隣自治体が一つになり、人口減少等に取り組んでいくことが必要で、この1市6町でもがんばってやっていきたいと思っている。八頭町にも若者が色々な面で活躍できる施設もあり、今後も皆さんと一緒にやっていきたい。

《八頭町副町長》

1市6町が一つのスクラムを組んで、チーム麒麟のまち、オール麒麟のまちで取り組もうという、スタートの時だと思う。スケールメリットをうまく活かした取組、特に情報発信の面では、色々なツールを使い、色々な発信ができるのではと期待をしている。1市6町は、住んで良かった、住みたいまちをつかっていきたいという同じ思い、同じ方向で進んでいけるのではと考えており、それぞれの良さを活かし、補完しながら、また助け合いながら、益々元気な圏域になればと考えている。

《香美町議会副議長》

人口減少の問題、少子高齢化の問題は加速度的に進んでおり、小さな町や村だけでなく、地方の都市においても同じ現象が起こっており、広域的な連携の中で解決していくことが必要である。その中で、ヒトやモノの交流、またそこに仕事を作っていくということが、

私達に託された大きな仕事であると考えている。また、各地域の文化・歴史といったものは、その地域の大きな財産であり、これを活かしていくことが重要である。

#### 《香美町長》

昨年11月末、山陰近畿自動車道の浜坂道路が開通したことで、大きく人の流れが変わり、我々の地域からも鳥取方面への移動が出てきている。今後については、インバウンドへの取組が重要だと考えている。道路開通と合わせて余部鉄橋の空の駅にエレベーターを設置し沢山のお客様に来ていただいているが、西側からは鳥取砂丘から足を伸ばしたと思われる中国人、台湾人のお客様が大変多いようだ。東側からは豊岡市城崎温泉からの観光客もあり、今後も皆さんと一緒に取組んでいきたい。また、移住・定住への取組について、鳥取県東部の皆さんは力を入れておられ、この二つの柱でこれからも一緒に取組んでいきたい。

#### 《新温泉町議会副議長》

新温泉町から住民が出ていく先として岩美町、鳥取市が多いという状況もあるが、広域での連携ということで、新温泉町には海、山、温泉、食べ物が数多くあるので、新温泉町にも足を運んでいただきながら、連携に取り組んでいきたい。

#### 《新温泉町長》

先日麒麟獅子マラソンを開催し、3,400人以上が参加した。その中の約半数以上の方が宿泊され、岩美町の民宿を利用された方も多くいた。まさに連携をしていく時代に来ており、観光協会、商工会の連携も含めて、良い連携ができると期待している。また、ジオパークを含めた山陰本線沿線での連携をさらに深め、圏域の活性化につなげていけたらと考えている。

#### 《鳥取市議会議長》

やはり背景にあるのは、少子高齢化、人口減少で、一つの町、市では解決できない問題なので、広域連携の中で解決していくしかない。各市町には、素晴らしい資源があり、これを持ち寄り、磨いていく努力が必要。この圏域は、文化的にも経済的にもつながりが強い地域であり、それが一つの圏域となったということで、一番効率的な連携でもあると思う。観光面だけでなく、他の分野でも連携を深めていく必要がある。また、ネックとなっている道路整備の課題に、今後も取り組んでいく必要がある。

#### 《鳥取市長》

この圏域は古くから生活圏、歴史の面でも共有する圏域で、先人達が陸路の交通が大変な時代から、それを乗り越えて交流をしてきた。観光振興もそうであるし、移住・定住の促進についても、一つの自治体で取り組むよりも、この圏域の魅力を大いに発信しながら一緒になって取り組んでいくことで、人口減少を食い止め、移住・定住の促進ができるのではないかと思う。また、道路整備についても、今後整備が進むことで、更に距離感が縮まり、通学・通勤圏ともなっていくだろう。それぞれのまちには素晴らしい地域の資源があるので、お互いに結び付けたり、磨き上げあたりし、発信していくことで多くの可能性があり、大いに広域連携に期待したい。この圏域は、全国的に見ても素晴らしい、実態の

ある連携を行っており、これからも一緒になってやっていきたい。

《鳥取市副市長》

観光というのが一つのキーワードである。DMO麒麟のまち観光局も立ち上がり、官民一体となりDMOも一緒になって取り組んでいくが重要ではないかと思う。今後、DMOの取組の紹介や提案等もこういった場で扱っていただけると考える。今回、皆様方の思いが一緒であることを改めて確認できた。

## 5 その他

## 6 閉会